

HiR ニュースレター

第11号

Oct, 2012

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学の学術研究成果を発信する「広島大学学術情報リポジトリ:HiR」と、オープンアクセスに関するニュースをお届けします。

第11号 コンテンツ

- 国際オープンアクセスウィーク
- 広島大学パテントデー開催報告
- お知らせ

国際オープンアクセスウィーク 10.22-10.28



オープンアクセスとは、インターネットを通じて研究成果を無料で公開し、世界の人々が対価なくこれを楽しむことができるようにすることです。オープンアクセスウィーク (Open Access Week: **OAW**) は、アメリカのSPARCが主催するイベントで、世界的に展開されています。日本からも多くの機関が企画をもって参加し、皆さんにリポジトリやオープンアクセスについてもっと知っていただくキャンペーンを実施します!!

日本国内のまとめサイトはこちら → <http://cont.library.osaka-u.ac.jp/oaw>

イメージカラー
はオレンジです。



「かわいいものを見ると集中できる」 入戸野准教授の論文がオープンアクセスに

先頃「かわいいものを見ると集中できる」論文で話題となった、総合科学研究科の入戸野宏 (にっこのひろし) 准教授らのグループの論文(*1)は、オープンアクセスジャーナル(*2)の一つ、『PLOS ONE』に掲載されています。そこで、入戸野先生に研究の契機やオープンアクセスについてお聞きしました。



「かわいい」動物の写真。
(論文中の実験で使用した写真とは異なります)

*1) [Nitto H, Fukushima M, Yano A, Moriya H \(2012\) The Power of Kawaii: Viewing Cute Images Promotes a Careful Behavior and Narrows Attentional Focus. PLoS ONE 7\(9\): e46362. doi:10.1371/journal.pone.0046362](#)

*2) オープンアクセスジャーナルとは、インターネットを通じて誰でも無料で読むことのできる雑誌です。出版のための費用は通常、著者が投稿料・掲載料として負担します。(参照: [本紙第8号](#))

Q: 「かわいい」についての研究をはじめられたきっかけは何ですか？

卒論生が「かわいい」の研究をしたいと言ってきたのがきっかけです。「かわいい」は日常でもっとも多用される日本語の一つであり、「kawaii」として世界にも広まっています。「かわいい」の定義や価値を世界の人にもうまく説明することは、日本の心理学者が取り組むべき課題だと考えています。



入戸野 宏 准教授

Q: オープンアクセスジャーナルと従来の購読料方式の雑誌とでは、研究者・著者として投稿する時の違い、読者の反応の違いがありますか？

どこに論文を発表するかは、誰に読んでほしいのかによって決めています。この論文は、専門家以外にも興味を持ってもらえるテーマなので、オープンアクセスジャーナルを選びました。日本だけでなく海外からの反響も大きく、発表後1週間で70を超える海外メディアが取り上げました。『PLOS ONE』は冊子体のないオンラインジャーナルです。情報伝達スピードがきわめて速いのが特徴です。従来の雑誌では、依頼に応じて別刷を送るところから始めなければなりません。自由に読めるメリットは大きいと感じます。「かわいい」の研究をはじめたときから、広島大学のリポジトリにもお世話になってきました。誰もが読める形で研究成果を公開しておけば、意外な読者に出会えると思いますよ。



他にも、入戸野先生の関連論文を「広島大学学術情報リポジトリ」から読むことができます。

Nitto H. A behavioral science framework for understanding kawaii. Proceedings of The Third International Workshop on Kansei page.80-83 (2010) <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00029818>

入戸野 宏. 「かわいい」に対する行動科学的アプローチ. 広島大学大学院総合科学研究科紀要. I, 人間科学研究 Vol.4 page.19-35 (2009) <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00029016>

井原 なみは・入戸野 宏. 幼さの程度による「かわいい」のカテゴリ分類. 広島大学大学院総合科学研究科紀要. I, 人間科学研究 Vol.6 page.13-17 (2011) <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00033096>

広島大学パテントデー開催報告



「広島大学パテントデー」は、創造的人材育成と社会貢献の推進のため、広島大学産学・地域連携センター知的財産部門主催により継続的に開催されています。外部講師による特別講演のほか、図書館より広島大学学術情報リポジトリ(HiR)と論文の公開についての概要説明をしました。

第6回



牧野正志氏

【日時】平成24年6月15日(金) 13:30～15:00
【会場】広島大学本部棟4F会議室

【特別講演】

「グローバル化に対応するパナソニックのものづくり革新」
牧野正志(パナソニック(株)顧問、前取締役本部長)

製品開発や生産革新部門でのご経験から、パナソニックの取り組みをお話いただきました。

【知財部門からの諸連絡】

広島大学学術情報リポジトリを紹介、中期目標をもとにした活動内容を報告しました。



産学・地域連携センターからの開催報告は下記をご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/15011>

第7回



藤田俊弘氏

【日時】平成24年7月20日(金) 13:30～15:00
【会場】広島大学本部棟4F会議室

【特別講演】

「国際標準化を指向したイノベーションによる新事業創造
～IDECにおける知財を礎とした研究開発と事業化の体験談あれこれ～」
藤田俊弘(工学博士、IDEC株式会社常務執行役員技術戦略本部長、IDECグループC.T.O.)

グローバル競争における国際標準確立の重要性、IDECの様々な研究開発の内容等についてお話いただきました。

【知財部門からの諸連絡】 <内容は第6回と同じです。>



演(図書館)

産学・地域連携センターからの開催報告は右記をご覧ください。<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/14546>

あなたの博士論文をネットで広く永く！ ～第6回 広島大学ホームカミングデー企画

【日時】平成24年11月3日(土) 10:00～12:00 13:00～17:00
【場所】広島大学中央図書館1F (総合案内カウンター後方)
【対象】広島大学で学位(博士)を取得された方

OAW運動企画

予約不要

本学在籍中の方の論文公開に関するご質問も受け付けます。

学生時代、研究成果の総まとめと言えば博士論文。

この機会に博士論文をインターネット(広島大学学術情報リポジトリ)で公開しませんか？研究成果の効果的な発信と電子ファイルとしての長期的保存、一石二鳥です。

博士論文登録許諾書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。論文データをお持ちの方は、USBメモリまたはCD-ROM等に保存してご持参ください。

▼博士論文登録許諾書: http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/main/documents/hir_d_thesis.doc

▼広島大学学位論文論題データベース: <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/dc/gakui/>

郵送でも随時受け付けます。博士論文登録許諾書と論文データを下記宛て送付下さい。

▼問合せ先: 広島大学図書館 学術情報企画主担当 濱

〒739-8512 東広島市鏡山1丁目2-2

TEL 082-424-6228 (11月3日は082-424-6214) FAX 082-424-6211

E-Mail library@office.hiroshima-u.ac.jp

おしらせ

HiRニュースレター 第11号 平成24年10月発行 広島大学図書館

学術情報企画主担当: toshokikaku-jyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

※本誌は、<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/newsletter/> でご覧いただけます。